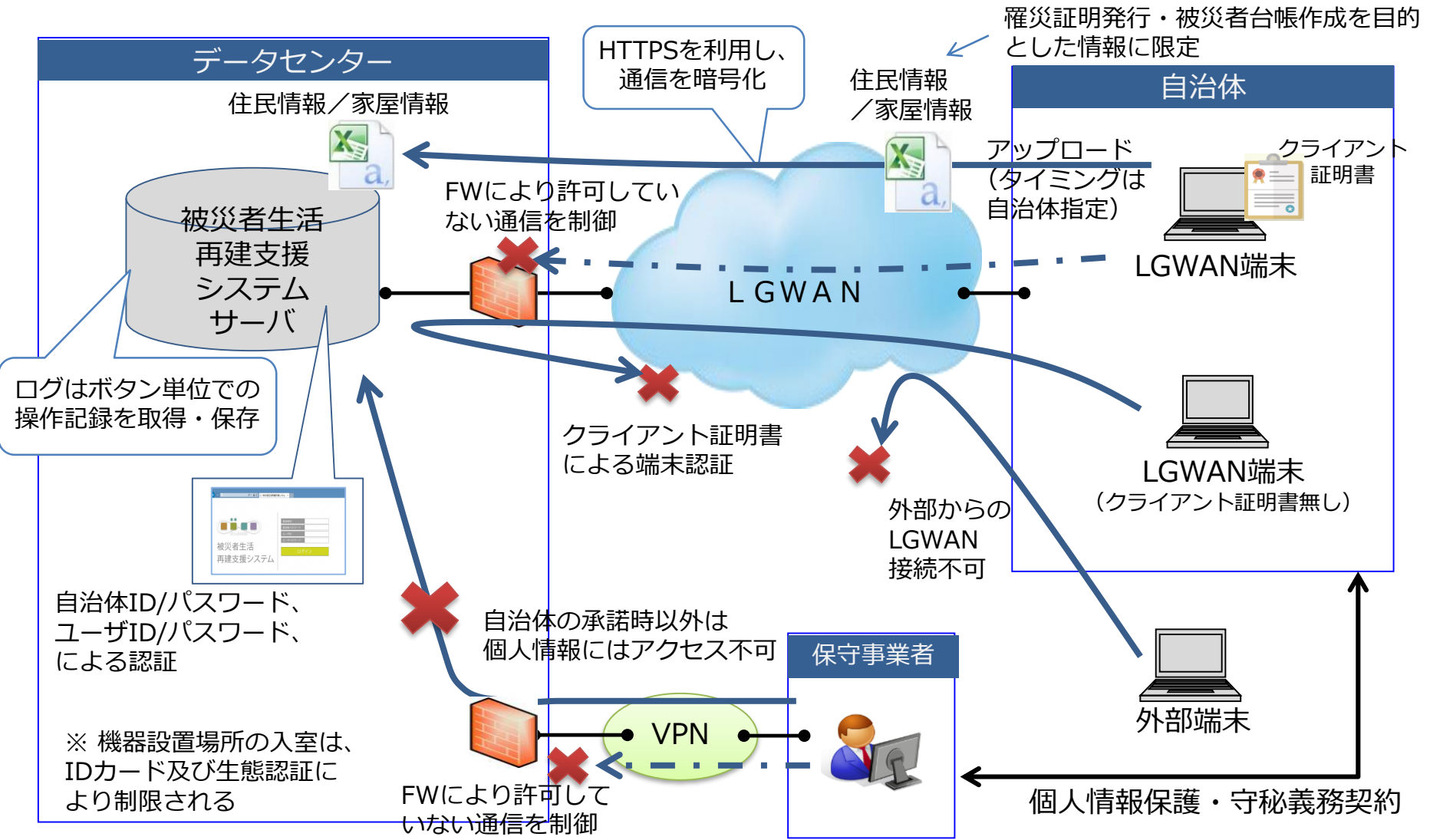


共同利用システムはセキュアな環境の中で運用される

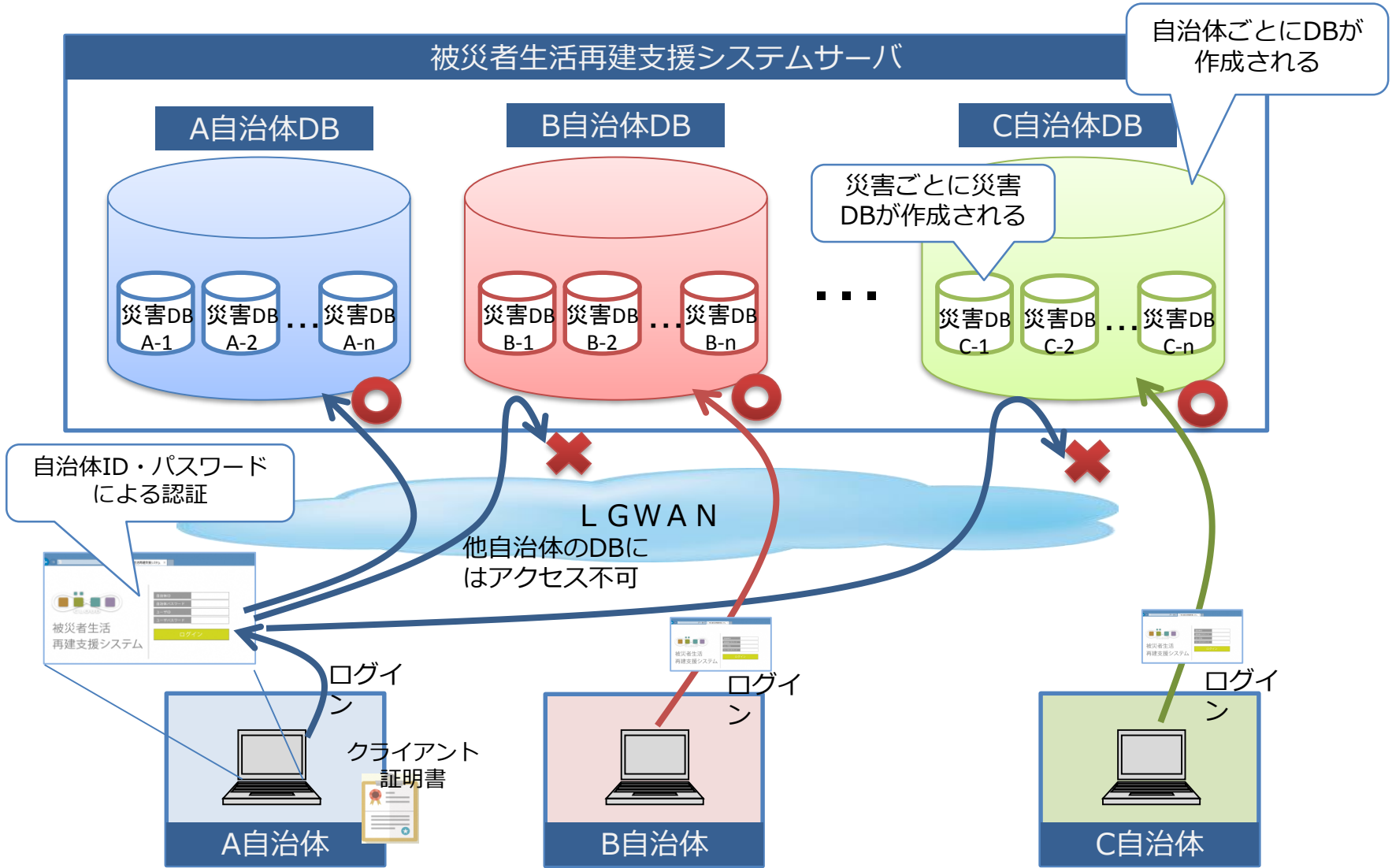
- ・システムを利用できる端末やユーザは制限され、利用者は必要な職員に限定される
- ・利用のための通信は暗号化され、許可されない通信は排除される



共同利用システムの自治体毎アクセス制御の仕組み

各自治体のデータベースには、各自治体の職員のみがアクセス可能

- 自治体のデータベースは論理的に分かれている（ハードは共通だが、使用領域を分断）
- データベースへのアクセスは自治体毎のID及びパスワードとクライアント証明書で制御される



共同利用システムへの住民情報・家屋情報のアップロードについて

各自治体の住民データ・家屋データは、ファイルベースでアップロードする

- ・各自治体の住基システムおよび家屋台帳システムとは直接的な接続や連携はしない
- ・住基データや家屋データの取扱い範囲やアップロードのタイミングは自治体指定

